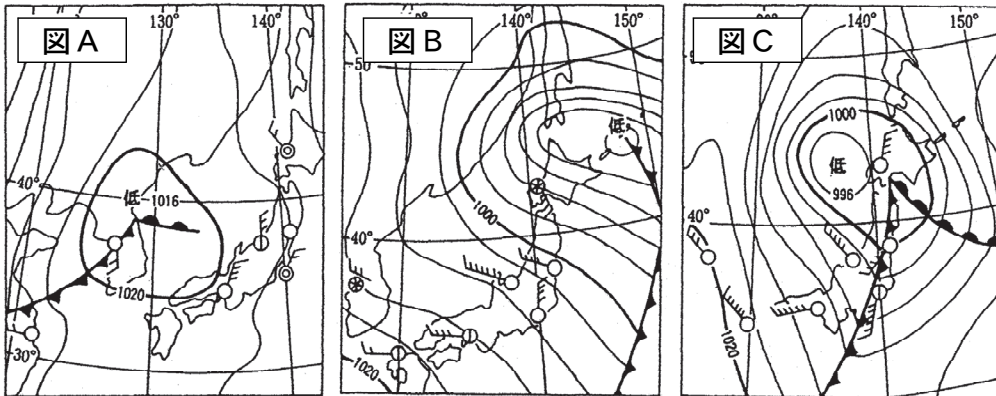


## 適性検査問題にチャレンジ⑦

さくらさんはお母さんと天気図を見ています。次の会話文を読んで、あとの問題に答えなさい。



さくら : お母さん、この3つの図は何なの。

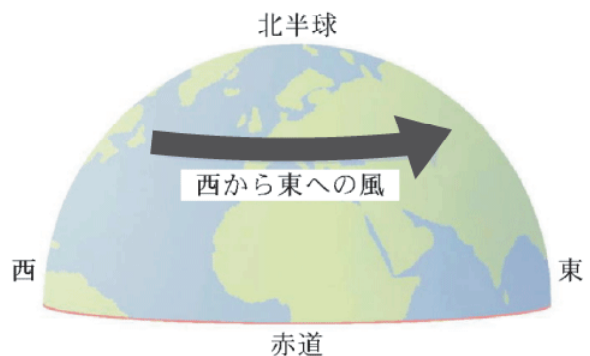
お母さん : これは、日本上空の大気の状態を天気記号や等圧線などを使ってあらわした天気図というものよ。天気じょうたいの分布がひと目でわかるので、天気予報の資料になるの。3つの図のうち4月7日の天気図は図Cよ。じゃあ、前日の天気図はどれかわかるかしら。

さくら : えー、どっちだろう。わかんない。

お母さん : さくらは、「天気は西から変わりやすい」という言い伝えを聞いたことがあるかしら。

さくら : うん、あるよ。おばあちゃんが言ったた。

お母さん : そう。その理由は、日本と同じくらいの緯度いどの場所では、西寄り(西から東に流れる方向)の風が1年を通してふいているからなの。これを偏西風へんせいふうというのよ。偏西風は、季節によって多少向きや風の強さが変わるんだけれど、西から東に向けてふいているのは変わらないわ。



さくら : つまり、たとえば西方向に雨雲があると、それが偏西風に乗ってこちらにやってくるから、翌日よくじつは雨かもしれないということだね。

お母さん : まあ、そういうことね。偏西風の中でも上空5~15kmあたりに特に強い風がふいていて、この空気の流れをジェット気流と呼ぶの。ジェット気流



## 適性検査問題にチャレンジ⑦ 解答解説

### 解答例

羽田発福岡行きの航空機(西行き)よりも、福岡発羽田行きの航空機(東行き)のほうがはやく目的地に着くことから、日本上空に西から東へ強い風がふいているということ。

### 解説

航空機の時刻表からは、福岡発羽田行き(東行き)の所要時間は1時間30分、羽田発福岡行き(西行き)の所要時間は1時間40分であることがわかります。つまり、東行きの航空機は偏西風(ジェット気流)に流されながら飛ぶ一方で、西行きの航空機は偏西風に逆らって飛ぶために10分の差が生じるのです。

なお、西行きの航空機はジェット気流の影響を受けないように、上空5~15km(ジェット気流がよくふく高度)をさけて低く飛び、東行きの航空機はジェット気流の流れに乗るために、上空5~15kmの幅で飛ぶといった工夫がされています。これは、航空機の燃料や所要時間を節約する意味もありますが、飛行する高度を分けることで、ニアミス(航空機どうしが異常に接近して衝突しそうなこと)をさけるねらいもあるようです。